

15 仏教聖典へのいざない

【全4回】／開催方法：現地

しゃく こんじん
釈 悟震

公益財団法人中村元
東方研究所業務執行理事
中村元記念館東洋思想
文化研究所副所長
文学博士
スリランカ国立ペーラ
デニヤ大学客員研究員
公益財団法人中村元
東方研究所副総括研究員



受講料 会員料金：¥9,000 早割価格：¥8,000（納入期限：10月24日）

【日程・時間】【全4回】 10月30日(日) 13:30~15:00・15:20~16:50
10月31日(月) 10:30~12:00・13:30~15:00

■受講に必要なもの

[テキスト] 講義までにご購入ください。

『仏教經典散策』 著者：中村元編著
出版社：東京書籍
角川文庫 出版年：2018

「八万大藏經」ともいわれるほど膨大な仏教の經典。どうして仏教はこれほど經典が多いのか。その理由や真の意味はどこにあるのか。またわたくしどもは、どれだけの經典の内容や意味を理解しているのであるだろうか、等々多くの疑念に対する紐を解くと同時に、われわれの日常生活文化になじんでいる仏教をより身近に感じさせ、摩訶不思議なる心の安らぎを覚えさせる講義であってほしいと願っております。

そこで本講義では、長い間もっとも難解で親しみやすすくない仏教の聖典をわたくしどもが親しみやすくなるように、生涯をかけて心血を注いだ中村元博士の数多くの珠玉の教説から選定された『スッタニパータ(經集)』、『ダンマパダ(法句經)』、『般若心經』を始め、中村元博士の門下生よりつづられた『華嚴經』、『法華經』、『維摩經』、『勝鬘經』、『父母恩重經』、『觀音經』、『金剛經』など最初期の仏教聖典から大乘仏教ならびに密教の聖典中においても、いにしえから最も著名な仏教聖典を中心に、説話やエピソードを交えてつづられた『仏教經典散策』を主要テキストとして、より分かりやすく、なおかつ担当講師独自の目線において仏教聖典への思惟方法をふまえて、そのいざないを昨年度につづいて順次、講じてまいります。

【本講義進捗の件について】

膨大な仏教聖典のなかで、仏教伝来約二千有余年という長い歴史を有する日本仏教において親しまれつつ、地球上どこの民族も有し得ない日本人特有の文化ならびに人間形成をなしとげた本テキストに挙げられた仏教經典の数々。それらに関わる深層の真相を全地球的観点、とりわけ仏教発祥の地、インドおよび漢字文化圏である、中国、朝鮮半島、日本にいたるまでを概観するのも、本講義の特徴であります。次年度においても本テキストに挙げられている經典を順次かつ継続的に進捗されることを念頭において企画された講座であることを申し上げます。

本年度は、日本の精神史ならびに文化史を築き上げた聖徳太子が数多くの大乘仏教の聖典よりことさら愛しつづけ、多くの日本人に教え勸進せられた『維摩經』、『勝鬘經』につづき『華嚴經』から、その昔から日本の隅々において通常知り得ないさまざまな知識が生活文化とともに内在されていることに気づき、その智恵を学ぶことになるだろうと思ひます。

以上の内容を踏まえて、【仏教聖典へのいざない】を記憶に残る講義として進めたく思っております。どうかご興味とお志がおありの方々のご参集を心待ちを致したく存じております。